

令和4年4月～6月期  
地域産業経営動向調査  
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関

堺商工会議所 〕

## 調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数 DI 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所 800 社（建設業 200 社・製造業 200 社・卸売業 100 社・小売業 100 社・サービス業 200 社）
3. 調査期間 令和 4 年 6 月 13 日（月）～27 日（月）

4. 回収率	調査対象数	回収数	回収率	
	建設業	200 社	100 社	50.0%
	製造業	200 社	103 社	51.5%
	卸売業	100 社	50 社	50.0%
	小売業	100 社	50 社	50.0%
	サービス業	200 社	100 社	50.0%
	全産業	800 社	403 社	50.4%

### 【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- DI 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

### 【各項目別の DI 値の意味について】

- 業況判断 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。  
⇒今期状況 … DI 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … DI 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。  
⇒今期状況 … DI 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

## 調査結果の概観

今期(4月～6月期)の前年同期比を見ると、雇用人員DIが改善、売上高DIがやや改善、資金繰りDIが横ばい、採算DIがやや悪化、業況判断DIが2期連続で悪化となった。

来期(7月～9月期)の予測については、業況判断DIが2期連続で改善、雇用人員DIがやや改善、売上高DIが2期連続で横ばい、資金繰りDIが2期連続でやや悪化、採算DIがやや悪化となった。

数値の推移としては、前年同期比・来期見通し共に前回調査より若干改善した部分もあるが、世界情勢の変化による原材料費の高騰・物流網の混乱が尾を引いており、市内事業所の業況は全体的に不透明感を増しているといえる。

加えて、新型コロナウイルスの感染者数が全国的に増加しており、コロナ禍収束に向けた見通しが再び不透明感を増していることから、引き続き市内企業の動向については、注視していく必要がある。

### 1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は2期連続で悪化。  
( $\Delta 18.8 \Rightarrow \Delta 22.3$ )

・来期見通しの指標は2期連続で改善と予測。  
( $\Delta 22.3 \Rightarrow \Delta 17.4$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、卸売業、小売業は改善、建設業は悪化、製造業、サービス業は2期連続で悪化。

・前年同期比の指標は2期連続で悪化。



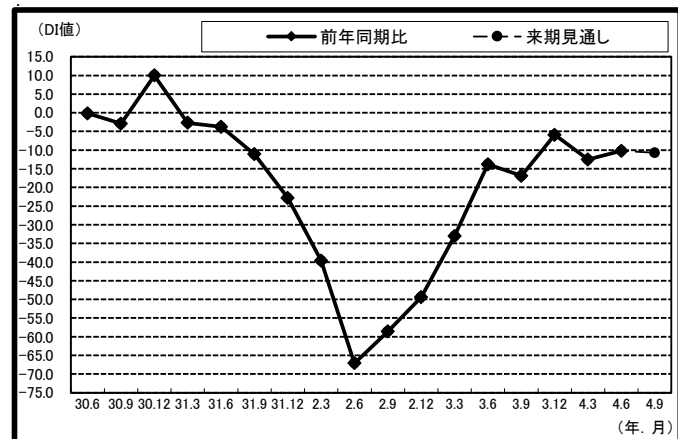
### 2. 売上高の動向

・前年同期比の指標はやや改善。  
( $\Delta 12.5 \Rightarrow \Delta 10.2$ )

・来期見通しの指標は2期連続で横ばいと予測。  
( $\Delta 10.2 \Rightarrow \Delta 10.7$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、卸売業、小売業は改善、製造業、サービス業は2期連続で悪化。

・前年同期比の指標はやや改善。



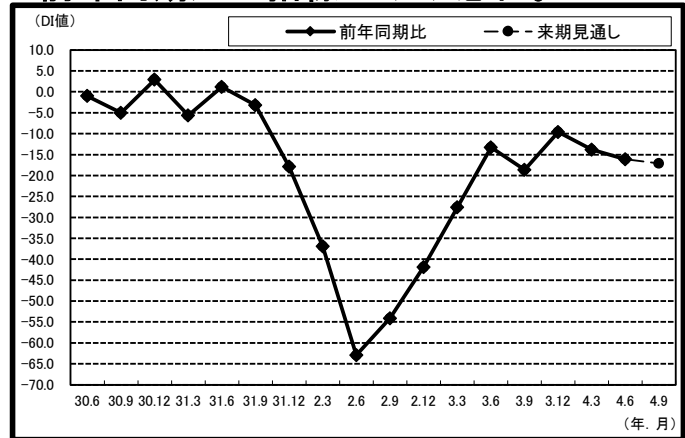
### 3. 採算の動向

・前年同期比の指標はやや悪化。  
( $\Delta 13.8 \Rightarrow \Delta 16.1$ )

・来期見通しの指標はやや悪化と予測。  
( $\Delta 16.1 \Rightarrow \Delta 17.1$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、  
建設業、卸売業、小売業は改善、製造業  
は悪化、サービス業は2期連続で悪化して  
いる。

・前年同期比の指標はやや悪化。



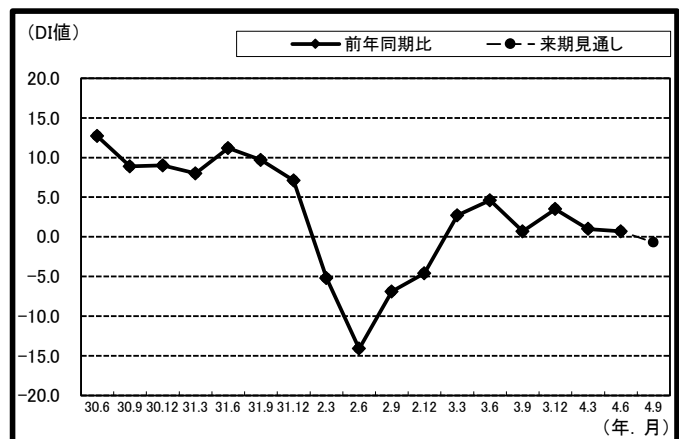
### 4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標は横ばい。  
( $1.0 \Rightarrow 0.7$ )

・来期見通しの指標は2期連続でやや悪  
化と予測。  
( $0.7 \Rightarrow \Delta 0.7$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、  
卸売業は改善、建設業、製造業は横ば  
い、小売業、サービス業は悪化している。

・前年同期比の指標は横ばい。



### 5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標は改善。  
( $\Delta 6.8 \Rightarrow \Delta 1.2$ )

・来期見通しの指標はやや改善と予測。  
( $\Delta 1.2 \Rightarrow 1.2$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、  
製造業、卸売業は2期連続で改善、建設  
業、小売業は改善、サービス業は悪化し  
ている。

・前年同期比の指標は改善。

